

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 26 日

評価対象事業		評価者	文化課長 藤田 聡一郎	
共生-30	鍋木清方記念美術館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	文化	施策の方針	文化活動の支援・推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鍋木清方の作品等を展示公開及び維持・管理し、鍋木美術品等の調査及び研究を行うため。
効果	鍋木清方の業績を後世に伝える。市民の教育、学術及び文化の発展に資する。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度により、鍋木清方記念美術館の効率的な管理運営を行った。</li> <li>指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。</li> </ul>
---

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	鍋木清方記念美術館 運営事業	鍋木清方記念美術館 指定管理料	利用者数(人)	11,981 / 11,000 47,007 / 47,008	14,000 47,008	108.9%	
02	鍋木清方記念美術館 維持修繕事業	維持修繕料	-	- / - 1,082 / 2,000	- 2,000	-	
03	リスク分担金(市民無 料化)	市民無料化に係るリス ク分担金	-	- / - - / -	- 2,823	-	
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	48,089 / 49,008	51,831		
			事業費の合計(千円)	48,089 / 49,008	51,831		
			人件費(千円)		6,070	6,149	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.7	0.8	0.8			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎚木清方記念美術館運営事業	令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止、展示ケース改修及び照明のLED化による修繕工事のため、臨時休館が長期間あった令和2年度と比べ、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、全期間開館できたことから、目標値を上回る結果となった。	指定管理者の専門性等を生かし、文化の支援及び推進に寄与した。	定期的な事務打合せ及び意見交換を継続し、指定管理者と意思疎通を図っていく。
02	鎚木清方記念美術館維持修繕事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	利用者の安全かつ快適な利用の実現のため。	-
03	リスク分担金(市民無料化)	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	より多くの市民に地域の歴史・文化に触れる機会を創出し、次世代へとつないでいくため。	-
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
		○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	協働実施済の場合のパートナー	市民、市民団体

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>効率性については、委託料削減の可能性があるため、「事業費の削減余地」は「ある」とした。</p> <p>鎚木清方記念美術館は、本市にゆかりのある近代日本画の巨匠、鎚木清方の作品を展示し、その功績を伝える場であり、また、日本画を描くワークショップなどの体験を通し、日本画の伝統を伝えることで、本市の文化振興に寄与している。令和3年度も令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、コロナ禍以前の来館者数と比較すると半数程度の来館者数という結果となったが、令和元年度までの実績を見ると安定した来館者数を確保できていたことから、妥当性については、「市民ニーズ」は「変わらずにある」とした。</p> <p>しかしながら、今後も新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想されるため、展覧会だけでなく普及事業においても新型コロナウイルス感染症に対応した事業を実施することにより、より来館者数の回復を図っていく。</p> <p>また、市民等との協働事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部実施できなかったが、大学との連携の他、ボランティアのサポートスタッフがワークショップ事業の運営補助等に参加したり、市民参加による客員研究員が市民講座での講義・叢書に関する調査研究事業を実施するなどの活動を行った。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、事業内容などを指定管理者と協議し、充実を図るとともに効率的なPR、広報活動に努めていく。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	利用料金収入(円)						単位	円
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
指定管理者からの提案による数値目標 (指定管理期間が令和5年度までのため、 目標も令和5年度までとしている。)	目標値	5,016,000	5,111,000	5,206,000	5,306,000			
	実績値	1,035,650	2,109,190					
	達成率	20.6%	41.3%					

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	延床面積・収蔵品数						
団体名	鎌倉市	浜松市秋野不矩美術館	神田日勝記念美術館(鹿追町)	萬鉄五郎記念美術館(花巻市)	笠岡市立竹喬美術館	静岡市立芹沢銈介美術館	
他市実績	496.17㎡	999.64㎡	1,256.5㎡	707㎡	1,781.21㎡	1,261.58㎡	
	11,079点	356点	267点	6,481点	3,935点	5,800点	

  

比較事項	総来館者数(R3)・1日平均来館者数						
団体名	鎌倉市	浜松市秋野不矩美術館	神田日勝記念美術館(鹿追町)	萬鉄五郎記念美術館(花巻市)	笠岡市立竹喬美術館	静岡市立芹沢銈介美術館	
他市実績	11,981人	20,358人	6,736人	7,614人	10,944人	19,344人	
	42人/日	77人/日	28人/日	30人/日	51人/日	76人/日	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<p>鎌木清方記念美術館と同様に、一人の画家を主軸とした美術品等の収集及び展示を行う公立施設の状況を把握して、客観的な比較、評価を行っている。</p> <p>当館は施設規模(延床面積)に対して収蔵品数が多く、こうした作品・資料を活用して、多様な展示企画を行うことができると考えられる。しかしながら、1日の平均来館者数を比較した場合、首都圏域という立地条件を考慮すると、来館者数は更なる増加の余地がある。</p>
----------------------	---